

## 新聞OB会 結成30周年記念の集い

### 健康で 明るく 楽しく



# 新聞OB

新聞産業の退職者懇談会  
(略称・新聞OB会)  
東京都文京区本郷2・17・17  
井門本郷ビル6F 新聞労連内  
電話 03(5842) 2201  
FAX 03(5842) 2250

新聞OB会は、新聞・通信社の退職者とその友人たちの親睦団体です。会員の親睦をはかり、生活の向上、社会保険の充実、言論・報道の自由の擁護をめざします。

## 盛大に結成30周年を祝う！

### 会員・会友、来賓ら93人が集う

新聞OB会結成30周年記念の集いが5月25日(金)、港区の「メルパルク東京」で開かれました。会員・会友に来賓を加え計93人が出席。1982年9月の結成以来30年の年輪を重ねた会の来し方を振り返り、政治・経済情勢が不透明ななか、シルバークラウンを發揮し、「健康で明るく 楽しく」活動していくことを誓いました。

### 後輩に頼られるOBに

第1部は正午から池内満さん(読売)と長田ヨキさん(東京中日)の司会で、まず赤川博敏実行委員長(毎日)が開会のあいさつ。昨年6月から実行委員会を何度も開き、準備を進めてきたことを報告、朝日出身のジャーナリスト、むの・たけじさんの言葉「『同志よ！ 君の後ろに老人がいる』と青年に言える老人になりたいもの」を引用し、「われわれもそういうOBになろう」と結びました。

この30年に103人の会員が死去

しており、全員で物故者に黙とうをささげ、冥福を祈りました。

来賓あいさつに移り、東海林智新労連委員長が「スパイ防止法より悪質の秘密保全法阻止のため、組織の運命をかけて闘う」と決意表明。外資系経済通信社ブルームバーグを解雇され、労連の支援をうけている松井博司さんが「不条理は許さない」と訴えました。友好団体から出版OB会の武藤昭三さん、印刷出版OB会の小原正幸さん、東京退職者の会連絡会の城田尚彦さん、民放関東シニアの会の仲楽間卓蔵さんが次々祝辞を述べました。

### 30年のあゆみを回顧

新聞OB会30年のあゆみを木村武晴事務局長(読売)が報告。会結成の経緯から囲碁にはじまる各サークルの活動状況、文集『オレンジの旗』刊行、会報発行、会友制導入、九条の会結成など多岐にわたる内容でした。また、この日全出席者に配布された『オレンジの旗』第10集の刊行

報告を四宮晴彦出版委員長(日刊工)が行いました。

次いで永年表彰に移り、青木昭二さん(産経)、小林波子さん(東京中日)、高山尚武さん(産経) 廣川武夫さん(日刊工)の4人に関照子会計監事(毎日)から記念品を贈呈。田原恒男代表委員(読売)から、青木さんは設立メンバーで長年ハイキングクラブの責任者を務め、小林さんは最年長(92歳)で元気印の代表。高山さんは東退連の活動に長年尽くした。廣川さん(病欠)は『オレンジの旗』刊行に第1集から関わったなど各自の功績を紹介し称えました。4人を代表して、青木さんが「労連を脱退したあと1961年のメーデーに参加したとき『産経ガンバレ』と激励されたのがうれしかった。何度か飛ばされ辞めるといわれたが、仲間のおかげで乗り切った。今年85歳、この表彰を励みに頑張る。OB会のいっそうの発展を願う」と謝辞を述べました。

人数が多いため2回に分けて記念写真を撮影、第1部を終えました。

(2面に続く)

この号は8ページです  
「当面の予定」は8面に

## 先憂後楽

「健康で明るく楽しく」のスローガンの下、新聞OB会結成30周年記念の集いが盛大に催された。物故者への黙祷、友好団体の挨拶、報告「30年の歩み」などの

後、長年OB会活動に参加された青木昭二さん、小林波子さん、高山尚武さん、廣川武夫さんの4人が表彰された。◆表彰者のうち青木さん、高山さんは産経OBだ。産経労組は今から52年前の60年10月に新聞労連を脱退。青木さんも高山さんも職場で「新聞労連派」として攻撃され、不当配転に遭っている。表彰者を代表して挨拶した青木さんは「仲間のおかげで辛い時代を乗り越えた」と感無量の表情だった。◆産経労組の新聞労連脱退は、当時結成10周年を迎えたばかりの新聞労連にとっても大きな痛手だった。水野社長の「3カ年平和協定」提案を受け入れて新聞労連脱退を決めた産経労組に対して懸命な引きとめ説得が行われた。この説得に産経労組執行部は次のように返答した。◆「われわれは平和協定が組合員の生活を守る最善の道だとして受諾に踏み切った。この道は総評、労連の方針と違うので協定期間の3年間休ませてほしいということだ。機械化、合理化は進んで受け入れていきたい。それが企業競争に勝ち抜く道だ」◆産経労組の選択はどうか。青木さんや高山さんの爽やかな笑顔をながらふと思った。(旨)

新聞OB会 三〇周年を祝って

## 三十路のOBよ

すずき ますくに(朝日)

三十路のOB 三〇年

産声上げた年代は コンピュータの合理化が 渦巻いていた中だった  
活字大組のような 画面にらんで腕を組む  
政治権力 介入しきり 言論守れと肩を組む

この時 戦好みの中曽根首相 靖国公式参拜で 憲法変えると息巻いた  
労働戦線分裂の 策動ひそかに始まった  
革新統一 どう強めるか 議論が続く日々だった

定年退職まだまだ若い 第二の人生どう生きる 固めたきずなど生かす  
親しく 楽しく モットーに 仲間の願い重なった  
「まず親睦と 生活向上を 社会保障の充実を 言論の自由高らかに」  
四つの柱にまとまった

一人ぼっちじゃないんだよ 元気のもととは 何だろう 「親しく 集まり 語り 知る」  
「明るくいどむ 仲間たち」 何より「心のつながり」だ

三十路のOB 輝く日々よ  
平和願って メディアを語り 暮らし良かれと 政治を語る  
そぞろ歩きで 歴史を訪ね 健康気遣い 福祉を語る  
ここの生き様 確かめ合って 肩を叩いて 酒を飲む

顔は火照って 議論が友だ 歌をうたって 懐かしむ  
何より皆の結束が 若さ支える 力だよ  
三十路の道はいつまでも 明るく 楽しく 続いている

三十路のOB 夢を追ひ 生きる  
頑固爺の きょうこの頃は 鳥の気分だ パソコンいじり 航空写真の 地図をみた  
スカイツリーに 負けない高さ 自由に羽ばたき 世界を見ている

犬の気分だ 警戒中だ あやしい政治家 ウロチョロ危険 怒り 不安で 苛立ち増えた  
遠吠え?徘徊? なんかないやないよ 孫子の代が 気にかかる

虫の気分だ 会報見てる 「近況ひとこと」じっくり読んで がんばる姿に 目を凝らす  
虫の息じゃ ないんだぞ 一人ひとりの 元氣な様子! 息吹感じて 勇気をもらおう

三十路のOB チャレンジのOB 「心のつながり」何時までも

## 「三十路」の会を詩で祝う

引き続き午後1時40分から第2部の懇親パーティーは米田光男さん(共同)と岩月一子さん(会友)が司会。丸山重威さん(共同)の音頭で乾杯、懇親に入りました。

全国から駆けつけてくれたOB会関係者として宮崎日日OB会の長友和男さん、毎日あゆみ会(大阪)の六尾清治さん、京都労組退職者の会の川人隆文さん、北陸中日OBの角島広治さんが次々祝辞を述べました。次いで鈴木益邦さん(朝日)がこの日のために作った長文の自由詩「新聞OB三十周年を祝って 三十路のOBよ」(別掲)をピアノのメロディーが流れるなか朗読、満場の拍手を浴びました。

## 演奏と歌で盛り上がる

つづいてアトラクションに入り、銀座にあるピアレストラン「ゲルマニア」の女性カルテットの登場です。経営者でボーカルの山川清子さん、ピアノの清水智子さん、アコーディオンの渡辺弘美さん、クラリネットの上田亜紀子さんの4人です。なじみの「エーデルワイス」などを次々歌いあげ、「あひるのダンス」では出席者ともども曲にあわせユーモラスな動作を展開。男女ペアのスクエアダンスも飛び出し、皆の手拍子で大いに盛り上がりました。

れ世話役・リーダーが紹介され、手を挙げてアピールしていました。

ここで新聞OB九条の会の報告があり、戸塚章介事務局長(毎日)が「国会の憲法審査会がいよいよ動き出した。改憲を許さぬため強い決意で闘っていく」と決意表明しました。

このあと、司会者の指名で永年表彰を受けた高山さん、JCJ事務局長の阿部裕さん(日経)の発言に続き、長島愛子さん(読売)は「82歳になったが生現役のつもり」と張りのある声で「さんさしぐれ」を披露。計良健二郎さん(会友)は「マージャンとカラオケを通し、これから活動に参加したい」と述べました。

プログラムの最後は「みんなでおおう」。カラオケクラブのメンバーがステージに上がり、清水さんのピアノ伴奏に乗って、出席者全員で「北国の春」「ともしび」「ふるさと」の3曲を力いっぱい歌いました。

実行委員の紹介があり、闘病中の松井悟さん(読売)を除くメンバーが登壇、芳尾孝治さん(内外)が集いの成功への謝辞を述べました。

白濱雄三代表委員(朝日)が閉会あいさつ、集いは成功のうちに幕を閉じました。

なお、会場の一角には各サークルや九条の会の活動状況を示す写真パネルが飾られ、出席者の注目を集めていました。また九条の会に会場で4人から計1万1千円のカンパがありました。

〔石塚 勝〕



「新聞OB会30年の歩み」を報告する木村武晴事務局長



開会挨拶・赤川博敏  
実行委員長

新聞OB会結成30周年記念の集い



永年表彰を受ける（左から）高山尚武、小林波子、青木昭二さん



乾杯！音頭は丸山重威さん



自作の詩を朗読  
鈴木益邦さん



名演奏 ビアレ스토랑「ゲルマニア」のカルテット



司会の長田ヨキさん、池内満さん  
米田光男さん、岩月一子さん（左から）



京都から川人隆文さん（左）  
宮崎から長友和夫さん（右）



うたごえ・語りい・親睦



来賓・新聞労連委員長  
東海林智さんが挨拶



「さんさしぐれ」を披露  
長島愛子さん



刊行した『オレンジの旗』  
を紹介する四宮晴彦さん

